

「マニラ式走行」に驚き



立花 夢歌さん

マニラ空港に到着し、日本人スタッフと

ラの人々は気性が荒いのか、とても運転が激しい。それに加え、白線を越えて走行したり、突然ものすごいスピードで車線変更したりと、日本では見られない光景に圧倒され

のためクラクションを鳴らすそうだ。

午後10時半ごろに無事CNE1に到着し

た。日本人スタッフの方から部屋の説明などを受けたが、これからの事で頭がいっぱいになり、内容が全く頭に入らなかった。

翌朝、フィリピンでの初めての朝食を楽しみに私たちは食堂に向かった。朝食を食べ終えた後、スピーキングテストとTOEIC

留学体験記

八学短大生が見た フィリピン ②

合流した後、スタッフの方と一緒に空港内のトラクションに乗って換金所で日本円をペイするかのようで、常にクラクションが鳴り響いていて、日本では「危ない」という意味でクラクションを鳴らすよ」という意思表示

まず驚いたのが「マニラ式走行」だ。マニ



私たちが英語を学んでいる「CNE1」での風景

スピーキングテストでは、先生との1対1の対話で不安や焦りが出てしまい、うまく会話することができなかった。勉強不足を後悔すると同時に、「英語をたくさん学びたい、明日は頑張ろう」という気持ちを強くした。

(立花夢歌)八戸学院大短期大学部

※随時掲載